

コロナ禍で頑張る会員事業所のご紹介

～舞鶴商工会議所の支援を受けて～

コロナ禍で、さまざまな“知恵”と“工夫”で難局を乗り越えておられる会員事業所から、実際に舞鶴商工会議所を利用した“生の声”をお聞きました。

[順不同]

開発志向でチャレンジする技術集積グループ ～舞鶴工業集積協議会～

会長 田中 正明

当協議会は、平成4(1992)年11月に発足しました。現在、市内の機械金属関連の95事業所で構成し、事務局は舞鶴商工会議所内にあり、運営の支援を受けています。

舞鶴市の2大産業とされてきた「造船業」、「ガラス製造業」で培ってきた製缶板金技術や機械加工・組立技術など、各社が持つ“ものづくり技術”を活用しながら、社会のニーズに沿った新商品の研究・開発を行っています。また、展示会に出展し、販路開拓に努めるとともに、近畿能開大と連携し、技術者の育成なども行っています。

私は、当協議会の活動を通じて、地域を活性化し、舞鶴市の発展を実現させていかなければならないと考えていま

す。JMUの商船建造撤退や新型コロナの影響で、今後も厳しい経営環境が予想されることから、各社が持つ技術を幅広く紹介して、販路開拓に努めていきます。

「京都ビジネス
交流フェア2021」
に出展



組織概要

組織名/舞鶴工業集積協議会
代表者/会長 田中 正明 会員数/95事業所
事務局 /〒625-0036 舞鶴市字浜66 舞鶴商工会議所
T e l / 62-4600 F a x / 62-4933
事業内容/新商品開発、販路開拓、人材育成事業の実施

開業前の計画は万全に ～Kaishin(株)～

代表取締役 甲盛 諒

平成29(2017)年9月、炭火で調理した牛・豚・鶏の串焼き料理と四季に合わせた豊富な地酒をメインに提供する「炭火居酒屋弾正」を浜地区でオープンしました。

私は、創業8か月前、金融機関の紹介で舞鶴商工会議所を知り、経営支援員を訪ね、まず始めに店舗イメージを話しました。融資を受けるうえでの“創業計画書”のほか、



自慢の料理を缶詰で販売(写真は舞鶴産鹿肉を使用したもの)

今後4年の収支計画などを記載した“事業計画書”の作成も丁寧に支援いただき、無事開店することができました。計画書を作成したことで創業後のイメージが明確になったことは確かです。

開業後、来店客も順調に増え、経営支援員から鶏肉生産業者の紹介を受け、新メニューの開発や店舗改装にも取り組みましたが、令和2(2020)年3月頃から、コロナ禍で売上は右肩下がりで推移しました。そのため、利子補給も受けられる舞鶴商工会議所の「マル経融資(特例)」を利用し、資金繰りを改善するとともに、テイクアウト事業も積極的に実施しています。そのほか、市外の方に対して当店自慢の料理を発信していくため、猪や鹿などの“ジビエ”を使用した缶詰を開発し、今後の売上拡大に取り組んでいます。

創業をお考えの方は、しっかりした事業計画が必要になるため、まずは舞鶴商工会議所で相談することをお勧めします。また、創業後も経営相談や様々なセミナーを受けることも魅力に感じています。

会社概要

事業所名/ Kaishin(株)
代表者/代表取締役 甲盛 諒 従事者/11人
所在地/〒625-0036 舞鶴市字浜620
T e l / 77-8778 F a x / 77-8778
事業内容/飲食店